

今日のトピック メキシコ金融市場 2021年の回顧と2022年の展望 昨年金融政策転換の年、今年は新中銀総裁に注目

ポイント1 昨年は予想外のインフレで 利上げに転換

- メキシコの金融市場にとって、2021年はインフレと利上げの年となりました。メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は2月には景気への配慮から利下げを実施しましたが、年央以降はインフレの大幅な上振れから金融引き締めへ転じ、政策金利は年央の4%から年末には5.5%まで引き上げられました。

ポイント2 通貨ペソは底堅く推移するも 頭の重い展開

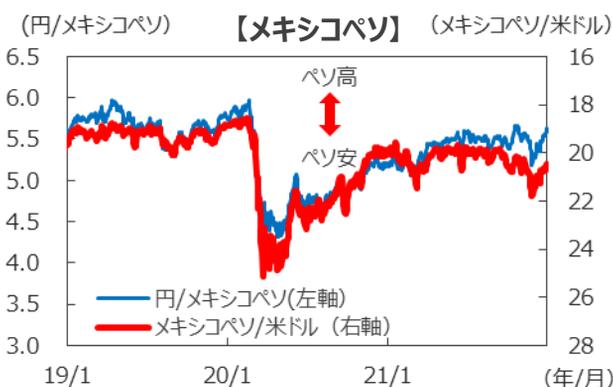
- 2021年の通貨ペソは、一昨年3月の急落前の水準を目指して戻りを試したものの、頭の重い展開となりました。順調な景気回復や度重なる利上げを受けた短期金利の上昇が下値を支えましたが、米国での大規模金融緩和の縮小や、一部新興国からの資本逃避の動きに加え、新中銀総裁人事をめぐる市場の疑心暗鬼などもあり、年後半は頭の重い展開となりました。

今後の展開 新中銀総裁の動向に注意

- 予想外の高止まりが続く物価上昇への警戒感から、2022年も中銀による利上げが続くそうです。政策金利は今後更に1.5%引き上げられ、今年の年末には7%まで上昇するものと予想しています。
- 通貨ペソは中銀による更なる利上げや景気回復から、引き続き対米ドルでコロナ禍前の水準（1米ドル＝19ペソ）を目指す底堅い展開となるものと思われます。
- ただし、昨年末に就任したビクトリア・ロドリゲス新中銀総裁の政策運営には注意が必要です。新総裁の政策手腕ははまだ未知数ですが、就任の経緯などもあり中銀の独立性への疑念が生じるようなことがあれば、メキシコの金融市場全体が動揺する可能性があります。注意が必要です。



(注) 政策金利は2019年1月1日～2021年12月31日。
消費者物価は前年同月比、2019年1月～2021年11月。
(出所) FactSet、メキシコ中央銀行のデータを基に
三井住友DSアセットマネジメント作成



(注1) データは2019年1月1日～2021年12月31日。
(注2) メキシコペソ/米ドルは逆目盛。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも
チェック! 2021年12月20日 メキシコ中銀が予想を上回る0.5%の利上げ
2021年11月12日 メキシコ中銀が4会合連続で利上げ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。